別紙資料

新型コロナウイルス感染予防のためのリコーダー・鍵盤ハーモニカの扱い方について

＜リコーダー＞

お手入れ方法

※リコーダーはとてもデリケートな楽器です。　優しく丁寧に扱ってください。

特に吹き口、エッジ部分は爪を立てて触らないようにしてください。

1. 演奏終了後、頭部管内部の水滴をとる。

頭部管のウインドウェイ（息の通るところ）内部の水滴を吹き飛ばすには、エッジ部分に、軽く指をのせて音が出ないようにします。（エッジ部分を強く指で押さないでください）その状態で強く息を吹き込み、水滴を飛ばします。

2. 外側の汚れや水分をガーゼや柔らかい布できれいにふき取ります。

授業の終わりにここまでやっておき、ケースに入れて持ち帰らせます。家では、吹き口の洗浄とリコーダー内部を軽く水洗いし、家の中で乾かします。水分を拭き取ったガーゼや柔らかい布も必ず洗濯するように児童生徒に伝えます。

3. リコーダー内部の水滴をふき取る。（家庭で実施）

※付属の掃除棒にガーゼを巻き付け内部の水滴をふき取る。力を入れずに優しく拭き取りましょう。　（リコーダー内部はとてもデリケートです）

＊キッチンペーパーでもいいです。

4. 中部管の上下のジョイント部分２箇所に付属のグリスを薄く塗ります。（家庭で実施）

ジョイント部の摩擦を防ぐため、グリスは必ず使用してください。

※リコーダーのジョイントがとてもスムーズになります。

上手に演奏するヒント

よくリコーダーの演奏をすると内部に水滴がたまり音も詰まってしまいますが、それはツバではありません。楽器を冷たい状態で演奏することで吹き込む息の温度が冷えて、結露をおこし水滴となったものです。リコーダーを演奏する前は必ず頭部管のエッジの部分を手のひらで人肌に温めてから演奏してください。
そうすることにより水滴は溜まりにくくなります。

♪♪

＜鍵盤ハーモニカ＞

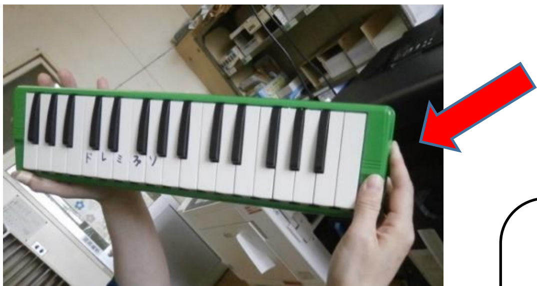
お手入れ方法

※鍵盤ハーモニカを長時間練習した後は水分が本体内に溜まっています。

水分が溜まった状態で鍵盤ハーモニカを吹くと、「ブルブルブル」と何かがつまっているような音になります。

1. 「つば抜きボタン」を押して、水分を取る。

　水分が溜まってきた時や練習が終わった後は
　「つば抜きボタン」を押して、息を強く吹き込み、
　水分を取るようにしてください。



2. 本体の汚れや水分をガーゼや柔らかい布できれいに拭き取ります。

ここまでを授業でやっておきます。ホースだけを持ち帰らせる場合は、ホースを入れるビニール袋を準備する必要があります。また、水分を吹いたガーゼや柔らかい布も持ち帰って必ず洗濯するように子どもに伝えましょう。

3. 練習後、ホースを水で軽く洗い流します。（家庭で実施）

　ホースにも水分が溜まっています。ホースも練習後は軽く水で洗い流し、日陰や室内の、日の当たらない場所で乾燥させると長持ちします。
※直射日光は避けてください。劣化の原因になります。

令和２年７月
帯広市教育研究会　音楽部会　作成